

# 話題も広がる 新聞回し読み

## 津でNPOなどワークショップ

新聞を使ったコミュニティづくりのワークショップ「まわし読み新聞」が津市大門のコミュニティスペース「kaidan」であり、市民ら8人が参加した。NPO法人「津市NPOサポートセンター」などが主催した。

参加者は持ち寄った新聞を回し読みし、気になった記事や写真、広告を切り抜いた。それぞれ選んだ理由を発表し、記事を配置してひとつの新聞を作り上げた。

イベントは16日にあり、

最も話が盛り上がったトピック記事は、津市のスポーツ施設「サオリーナ」をめぐる話題。入札や金額に始まり、他の運動施設や国体の歴史にまで及んだ。他に、料理のレシピから木星の観測写真、5・15事件の記事ま

記事の配置を考える参加者たち＝津市大門



で様々な話題が挙がった。参加した津市の大学講師 富本真理子さん(55)は「普段は1人で読む新聞だが、

みんな楽しく読めた。人によって読み方が違い、面白かった」。

ファシリテーターを務めた津あけぼの座の油田晃さん(41)は「新聞には幅広い

話題が書かれている。話が盛り上がり、誰でも簡単に楽しめる」と話した。

同センターは6月にも開く予定。連絡は059・213・7200。